

GANTZ (2010)

メディア 映画

ジャンル SF アクション サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 130分

初公開日 2011/01/29

公開情報 東宝

映倫 PG12

【キャッチコピー】

なぜ、
戦うのか――。

【解説】

独創的にして謎に満ちたストーリー展開と過激なバイオレンス描写でカリスマ的な人気を誇る奥浩哉の同名マンガを、「硫黄島からの手紙」の二宮和也と「DEATH NOTE デスノート」の松山ケンイチ主演で実写映画化した衝撃のSFサスペンス・アクション。2部作として製作され、本作はその第1部。共演に吉高由里子、本郷奏多、山田孝之。監督は「修羅雪姫」「ホッタラケの島 遥と魔法の鏡」の佐藤信介。

何事にも無気力な就活中の大学生・玄野計と正義感の強い青年・加藤勝。幼なじみの2人は地下鉄のホームで再会して間もなく、通過する電車にはねられ命を落とすことに。しかし、死んだはずの2人は次の瞬間には見慣れぬマンションの一室に移動していた。そこには、他にも死んだはずの人々が集められていた。やがて彼らは、リビングの中央に鎮座する謎の黒い球体“ガンツ”から唐突にあるミッションを命じられる。それは、“星人”と呼ばれる異形の敵と戦い、抹殺しろというもの。そしていきなり戦いの場へと転送されてしまう玄野と加藤たち。こうして理由も分からず、何の覚悟もないままに、生きるために戦い続けなければならない不条理な世界へと呑み込まれていく2人だったが…。

【クレジット】

監督	佐藤信介
アクション監督	下村勇二
企画プロデュース	佐藤貴博
製作	大山昌作 鳥嶋和彦 島谷能成 藤島ジュリーK. 堀義貴 平井文宏 村上博保 大橋善光 鳥羽乾二郎
製作指揮	宮崎洋
シニアプロデューサー	菅沼直樹
エグゼクティブプロデューサー	奥田誠治
プロデューサー	田中正

原作	飯塚信弘		
脚本	奥浩哉		
CGプロデューサー	渡辺雄介		
CGディレクター	豊嶋勇作		
撮影監督	土井淳		
特撮監督	河津太郎		
美術監督	神谷誠		
衣装	原田恭明		
編集	宮本まさ江		
音楽	今井剛		
録音	川井憲次	Kenji Kawai	
装飾	横野一氏工		
ヘアメイク	高島一朗		
スクリプター	本田真理子		
VFXスーパーバイザー	田口良子		
宣伝プロデューサー	前川英章		
製作担当	高橋亜希人		
助監督	荒木正人		
特殊造型プロデューサー	李相國		
出演	蟻川昌宏		
	二宮和也	Kazunari Ninomiya	玄野計
	松山ケンイチ		加藤勝
	吉高由里子		小島多恵
	本郷奏多		西丈一郎
	夏菜		岸本恵
	綾野剛		謎の集団リーダー
	水沢奈子		謎の集団の少女
	千阪健介		加藤歩
	白石隼也		桜井弘斗
	伊藤歩		鮎川映莉子
	田口トモロヲ		鈴木良一
	山田孝之		重田正光
	戸田菜穂		
	浅野和之		
	小林一英		
	小松利昌		
	落合扶樹		
	市川千恵子		
	春名柊夜		
	古澤裕介		
	土平ドンペイ		
	Merii	Merii	
	阪田マサノブ		
	越村友一		
	緑友利恵		

橋本まつり
長江英和
玄覺悠子
若葉竜也
奥瀬繁
平野靖幸
大石将史
神威杏次
五十嵐翔
早川恭崇
柴田愛之助